

一般質問から

公共サービス基本法について

Q 公共サービス基本法は、
第十一条で「公共サービス

鹿野 泰司

の実施に従事する者の労働環境の整備」ということを定めています。市は、本条文に基づき施策を、どう具体化していくかと考えますか。

国の公契約に関する法整備が重要かつ必要と考えていることから、国の公契約に関する動向を注視して参りたいと存じます。また、本市では、建設工事に

A 施策の具体化として、千葉県野田市が公契約条例を制定したところですが、本市に

おける公契約条例の制定につきましては、公契約の適用範囲や受託者と労働者の雇用に対する市の関与等の課題や適正な労働条件の確保及び労働環境の整備に必要な施策を検討するうえで、

係る一般競争入札や人件費の占める割合が高いとされる屋内の清掃業務委託の入札に最低制限価格を設定し、平成20年度からは総合評価方式の入札を試し、労働者へのしわ寄せの原因ともなるダンピング受注の排除に努めているところです。ひきつづき、研究をして参りたいと考えています。

公立小中学校の耐震化工事について

Q 耐震性の低い施設を優先的に実施する国の予算は、

宇田川 幸夫

本市の耐震化年度計画と大規模改修に今後、影響はないのかお伺いします。

耐震性の低い施設を優先的に実施する国の予算は、本市の耐震化年度計画と大規模改修に今後、影響はないのかお伺いします。

A 財政状況の厳しい中、平成22年度におきましても本市の重要課題と位置付け、計画

どおり中川小学校及び八幡中学校校舎等の耐震補強及び大規模改修工事を行うよう、予算計上させていただきます。耐震補強及び大規模改修工事は多額な財源が必要となりますことから、国の動向を注視し、その対応を検討していく必要があると考え

ているところでございます。耐震補強及び大規模改修工事は、児童生徒の安全・健康を守るための重要な事業でございます。また、地域住民の応急避難場所としての役割も果たすものであります。計画の見直しが必要なる場合は、十分な検討を行ってまいります。仮りに、平成23年度から27年度まで国庫補助が受けられない場合は、市の持ち出しとして、大規模改修費は36億円程度が必要となる見込みであります。

学校給食の改善について

Q 「温かい給食を」などの取り組みが始まり、冬季だけでもおかずを急冷しないなどの試行が始まりましたが、肉類

池谷 和代

など油もの場合、油脂が冷たくなって白く固まりになっていくのがつらいなどの声を聞くにつけ、改善の不足を感じざるを得ません。さらに対策を検討すべきではないでしょうか。

に並べる時間も可能な限り遅らせ、食べるまでの時間を短縮するなどの改善をしてみました。その結果、学校に聞きますと前年度と比較すると美味しくなると言われることが増えました。

A より温かい給食を食べられるよう調理開始時間を一時間遅くし、盛り付けするのに必要なぎりぎりの温度まで下がったところで盛りつけを開始し、

学校に配送する時間や教室の前

しかし真冬の時期には、指摘される点もあり、主菜がセンターで搬送される時は約31度のものが、学校に届いてから約9度温度が下がることもあるので、保温シートなどを使うことも試していきたくと考えています。

八潮市消防団員の増員について

Q 市民の大切な生命・財産を守る消防団員が減っていることについて、市民の生活を脅かす恐れがあると考えられます。今後の安全安心なまちづくりのために市の対応についてお伺いします。

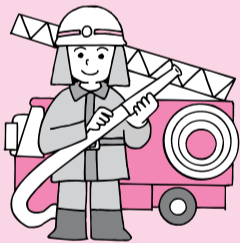
大山 安司

とところでございます。その一つとして昨年8月1日付で女性団員を5名採用し、若い世代、新しい住民層の入団を促進しております。

とところでございます。その一つとして昨年8月1日付で女性団員を5名採用し、若い世代、新しい住民層の入団を促進しております。

A かつて全国に200万人いた消防団員は、現在90万人を割るという危機的状況であり、地域防災力の低下が懸念されております。

ご質問の消防団員増員のため本市の対応につきましては、消防団役員と連携をとり、条例定数に近づきよう努力している



区画整理事業について

Q 稲荷伊草第二土地区画整理事業は終了に近いが、今後の計画は。また特別保留地及び優先保留地はそれぞれ何件か。

豊田 吉雄

計画書の作成を行う予定で、その内容としては換地図の作成、各筆の換地明細書などの調査、清算金額の算定等です。平成25年度には、各関係者に換地計画の内容を個別に説明し、換地処分の手続きを行います。平成26年度～30年度の5年間で清算金の徴収交付を行う予定です。

A 当地区の区画整理事業は昭和58年から始まり、現在では仮換地指定、建物移転を完了、街路築造等の進捗率も9割近くとなっております。

これからの計画は、平成22年度～23年度の2箇年で街路築造等の工事や保留地処分を行い、平成23年度には地権者の方々の土地の境界及び面積を確定するための出来形確認測量を行う予定です。平成24年度には、換地

また、特別保留地が112区画4413㎡で、そのうち未処分保留地が11区画970㎡、となっております。

観光行政について

Q 八潮駅が開通して今年で5年目となります。ここで、

中嶋 善文

八潮市をもう少しPRしてイルミネーションで人を招き入れることはできないでしょうか。単年度ではなく、花桃まつりのイベントのような継続を目的にした冬の観光名所を駅南口の公園予定地につくり、とにかく八潮に降りていただき、八潮を知ってもらおうという考えはありませんかでしょうか。

をアピールする空間であります。各種イベント会場として、イルミネーション等の設置は有効な方法と考えられます。現状では商業の集積など、街並み形成が途上であり、実施の主体となる商店街等の組織化を図っていくことが課題となっております。

A 八潮駅南口の公園予定地におけるイルミネーションですが、駅周辺は本市の顔でもありますので、市民の皆さんにもとより、市外にも市の魅力

今後、実施主体として期待される、駅周辺の商業集積の推進と併せ、イルミネーションの実施の可能性について、商工会、観光協会など、関係団体と連携して検討してまいりたいと考えております。